

第2学年2組 英語科メディア活用学習指導案

学習指導者

赤井真三子

安藤久美子

Christopher McCabe

実践的コミュニケーション能力の育成を目指して

1 校時・場所 第5校時 3階多目的教室

2 題 材 名 Multi Plus 3 わたしの町

3 題材について

- (1) 本題材は、「わたしの町」の紹介文を扱っている。これは、自己紹介になくてはならない項目である。ここで生徒は、自分で言語材料を選びながら豊中町の紹介文を作り、テレビ電話を通して、それを知らない人に伝えていく。生活に密着した内容のため、表現意欲を高め、英語使用の必要性を感じさせる点で、適した題材と言える。また、Unit 6 で学習した現在形と過去形の There + be 構文も十分に活用することができる。
- (2) 本学級の生徒は全体的に、楽しく英語活動に取り組んでいる。会話やゲームなどの言語活動を、特に好んでいる。7月に実施したアンケート調査によると、一番身に付けたい知識や力の項目では、43%の生徒が「外国人と話す力」を選んでいる。このように、英語を話せるようになりたいのだが、反面「話すことが苦手」(37%)、「書くことが苦手」(30%)と、自己表現に抵抗を感じている生徒が少なくない。さらに学力差も目立ってきており、下位生徒には十分な配慮が必要である。

メディア活用授業後の生徒の反応

(平成19年7月2日)

Q.1 学習に意欲をもって取り組めたか。

どちらかといえば意欲がなかった(3%)

意欲的に取り組んだ(50%)	どちらかといえば意欲的に取り組んだ(47%)	1
----------------	------------------------	---

Q.2 今日の授業でメディアが役に立ったか。

あまり役に立たなかった(6%)

非常に役に立った(77%)	まあまあ役に立った(17%)	1
---------------	----------------	---

(3) 本題材の指導にあたり次の点に留意したい。

グループ学習により、生徒が相互に助け合いながら自主的に活動できる場面を設定し、自己表現しようとする態度を育てる。

リアルコミュニケーションでは、言葉の聞き取りが不十分であるために様々な困難が生じると予想されるが、TT指導により会話をつなぐよう援助する。

生きた英語を体得させるために、実物や映像を使って表現させたり、できるだけ現実的な場面を設定したりする。

作った英文を、豊中町に興味をもっている ALT の両親(デンバー在住)に伝えるという目的意識をもたせることで、言語活動への必要感を高めていく。彼らとは、明瞭かつ簡単な会話ができるよう、事前に授業の意図を理解してもらっておく。

4 題材の目標

(1) 豊中町について具体的に説明するために、There is(was) ~. There are(were) ~. を適切に用いることができる。

(2) 英文による「わたしの町」の書き方を知り、実際に書いた文をテレビ電話を通して、ALT の家族に豊中町を分かりやすく伝えることができる。

5 学習指導計画

Multi Plus 3 「わたしの町」

・・・ 2時間 (本時 2 / 2)

6 本時の学習指導

(1) 目標及び評価規準

- ・自分の町の紹介文を相手にわかりやすく話すことができる。
- ・ALT の両親とテレビ電話を通して積極的に会話しようとする事ができる。

(2) 主体的学習を可能にするメディア活用の視点

リアルタイムで遠く離れた外国の人に自分たちの発表をわかりやすく伝えたり、既に学習した英語を使って会話を持続する態度と表現力を身に付けたりするために、インターネット回線を利用したテレビ電話システム Skype を使用する。

(3) 目指す「確かな学力」

「積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度と表現力」

(4) 準備物

パソコン(2台)、プロジェクター(2台)、スクリーン(2台)、ビデオカメラ、ワークシート、テレビ電話システム(Skype)、豊中町の写真等の提示教材(Power Point)

(5) 学習指導過程

学習活動・内容	生徒の意識の流れ	教師の評価と支援 ● 評価基準 ● メディア使用時の留意点及び支援
【前時】 1 本文を学習する。 2 町の紹介文を書く練習をする。	・ There is(was)~, There are(were)~.を使うと、どこに何があるのかを伝えることができるんだな。 ・ こういうふう文を付け加えていけばいいんだな。	・ 声に出して練習させることで、基本文の定着を図る。 ・ 教師の自作コンテンツを利用して、基本文例を口頭練習する。
クリス先生の両親への分かりやすい豊中町の紹介文を作ろう。		
3 豊中町の紹介文を作る。 4 班ごとにプレゼンテーションをまとめる。	・ 何について書こうか。 ・ この文を削除して、新しい文を加えよう。 ・ 私たちの分担は中学校の紹介だ。責任をもってまとめよう。	・ 豊中町について、教師の自作コンテンツから情報収集し、紹介文を書く。 ● PC がうまく活用できていない班や、英文作りができていない班を指導する。 ・ 作った文章をテレビ電話システムを使ってプレゼンテーションすることを伝える。
【本時】 1 あいさつと本時の目標を確認する。	・ プレゼンテーションがうまくできるかな。	・ 英語学習に適した、活発な雰囲気をつくるために明るくあいさつをする。
クリス先生の両親に豊中町を紹介しよう。		
2 テレビ電話で話ををするときに気を付けること確認する。 3 クリス先生の両親 (Carla・Mike) に豊中町を紹介する。 (1)発表する。 (2)質問に答える。 4 クリス先生の両親と会話をする。 5 クリス先生の両親より感想を聞く。 6 本時のまとめをする。	・ 大きな声でゆっくり言おう。 ・ 豊中町についての英文が通じるかな。 ・ パワーポイントの画像と合わせて説明しないといけないな。 ・ 何と言っているのだろうか。 ・ ~と言いたいけど、どう言うのだろうか。 ・ デンバーは何時かな。 ・ 天気はどうなのかな。 ・ 後ろに見えているものは何だろう。 ・ スポーツは好きかな。 ・ 内容が伝わったかな。 ・ なんとか英語が聞き取れたよ。 ・ 英語でコミュニケーションできたよ。 ・ また会話したいな。 ・ 今度はもっと言いたいな。	・ 大きな声ではっきりと話す、カメラを見るなど、コミュニケーションをする際に気を付けることを説明する。 ● パワーポイントをスムーズに操作できているかどうかを確認する。 ・ 内容や紹介している様子から、良かった点や改善したらよい点を指導する。 ● 声量、画像等の環境が整っているかを確認する。 - 態度 (A 積極的に聞き返したり答えようとした。) (B 楽しく会話できた。) - 支援カードを有効活用させる。 - 表現 (A わかりやすく説明でき、質問に対する受け答えもできた。) (B わかりやすい説明ができた。) - クリス先生の両親のコメントが十分に理解できるように、支援する。 ・ 生徒が分かりやすい表現を使ってもらよう事前に打ち合わせしておく。 ・ 天候や時間などをどんどん質問させる。 ・ クリスマスについて、話をしてもらう。 ・ 積極的にコミュニケーションできたことを褒める。 ・ 次回に向けて良かった点、改善点を確認する。

